

2018年 中河内地区「夏の公開研修」報告

講座番号 ( ② )	講座名 「学習意欲の向上について考える」
日時	2018年7月30日(月)
講師	大阪府立守口支援学校 指導教諭 瀧本 一夫 先生

<講座の様子>

大阪府立守口支援学校の瀧本先生により、「学習意欲を育てる」というテーマでご講話いただきました。

クラスの中には、学習が苦手な児童・生徒、まじめに取り組んでいるのにできない、しんどい児童・生徒が必ずいます。「なぜ学習が苦手なのか?」「なぜできないのか?」という原因を探ることからはじまり、その原因をふまえた上で『基礎力』を高めることが、学ぶ意欲や学習意欲を高めるということを教えていただきました。

この『基礎力』がとても大事で、『基礎力』を上げることで学習に対しての児童・生徒の取り組み方が変わってくるようです。具体的に『基礎力』を培うトレーニングをたくさん説明していただき、また実際にトレーニングを体験することで、『基礎力』を培うことの大切さをイメージ・実感することができました。

朝の時間や国語の時間等、少しの時間(5分程度)で良いので、トレーニングを少しずつ取り入れることで必ず学習意欲の向上につながります。実態に合ったトレーニングを継続的にスモールステップで行うこと、子どもたちに自信をもたせることができるような支援を考えることのよい機会になりました。

質疑応答の内容

Q1. 瀧本先生が実際に実践され、効果がみられたとのことですが、どのような実践か?

A. 小学3年生クラス(全クラスではなく1クラスだけ)に、国語の時間1日1回5分。国語がないときは、それ以外の時間で行った。

Q2. 支援学級でのペアづくり、ペアの学習内容方法を教えてください。

A. 振り返り(よかった点)を言えるようなグループ作りがよい。

Q3. 「やる気」を出させるためには?

A. 自分ができる可能性が高くないと、しない児童が多い。

成功体験を積むこと、簡単な課題で「できる」を積み重ねることが大事。

日々の些細なことでも、できていることを伝えてあげる。

